

患者様へ

労働者健康安全機構 病院機能向上研究事業

「ストレス社会における痛風・高尿酸血症の年度別発生頻度調査」

ご協力をお願い

当院では、当院の母体である労働者健康安全機構の病院機能向上研究事業である「ストレス社会における痛風・高尿酸血症の年度別発生頻度調査」を行っています。この研究は、当院および全国の労災病院の患者様の臨床データを用いて令和6年3月まで実施するものです。研究では、通常の診療の診療情報（検査値など）の登録を行います。患者さんへは通常通りの治療・検査を行いますので、ご負担や危険は一切ございません。また個人情報保護とセキュリティー管理は万全です。登録する診療情報には、患者さん個人を特定できるお名前・生年月日などは一切含みませんし、情報は厳重に保管・管理いたします。なお当院の倫理審査委員会の審査と許可も受けております。

もし何らかの事情で協力をやめられる場合は、医師にお伝えくだされば研究対象から外させていただきます。診察の際にお申し出いただくか、お電話等でお伝えください（代理人からの申し出でもかまいません）。 その場合も、以後の治療に不都合が生じることは一切ございません。なおこの研究は、労働者健康安全機構の資金で実施しており、製薬会社などからの資金提供は受けておりません。研究の詳細など具体的にお知りになりたい場合はお教えてください。よろしく願いいたします。

【研究概要】一般的に精神的ストレスが増加すると、痛風・高尿酸血症を起こすことが知られています。近年、ストレスの増加により痛風・高尿酸血症患者は急速に増加しています。痛風は生活の質を著しく低下させ、高尿酸血症は痛風の原因となるだけでなく腎・心血管病の危険因子になり得ると言われています。そこで我々は当院検診データおよび労災病院グループの病職歴調査データを利用して、近年の痛風・高尿酸血症の年度別発生頻度および心血管病との併存頻度を明らかにしたいと考えています。さらに職業と痛風・高尿酸血症発症との関連や、高尿酸血症と腎・心血管病発症との関係を調べることにより、ストレスにさらされている患者様が痛風・高尿酸血症、さらには腎・心血管病を予防するためにはどのような手段があるのか検討したいと考えています。

令和4年4月

労働者健康安全機構 山陰労災病院

研究責任者 循環器内科 水田 栄之助

連絡先: 山陰労災病院 0859-33-8181 (代表)